

○理化学課 食品担当

食品の安全確保のため、市場に流通する食品等について、残留農薬や食品添加物等の行政検査を実施しています。

また、食中毒等に係る理化学検査、試験検査の信頼性を確保するための精度管理、健康危機管理等に対する検査体制の整備、県の他機関や大学等との共同調査研究等を行っています。

令和 2 年度の概要は次のとおりです。

1 行政検査

佐賀県食品衛生監視指導計画に基づき、市場から収去された食品等について検査を実施しています。

令和 2 年度の検査状況は表 1 のとおりです。

(1) 残留農薬

農産物について国産品(主に県産品)33 検体の検査を実施しました。農薬が検出された検体は、15 検体であり、残留基準がない農薬が一定量(いわゆる一律基準)を超えて検出した検体が、ほうれんそうで 1 検体ありました。

(2) 残留動物用医薬品

畜水産物(牛乳、魚)11 検体の検査を実施しましたが全て検出されませんでした。

(3) 食品添加物

加工食品 51 検体について着色料、保存料、甘味料、発色剤の検査を実施しましたが、成分規格及び使用基準に適合しない検体はありませんでした。アイスクリーム 1 検体について、着色料の表示違反がありました。

(4) 重金属等

器具(陶磁器)について、カドミウム及び鉛の検査を実施していますが、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により収去中止となりました。

(5) 酸度、比重、乳脂肪分、無脂乳固形分

牛乳 3 検体について成分規格の検査を実施しましたが、全て適合していました。

表 1 佐賀県食品衛生監視指導計画に基づく収去検査の状況(令和 2 年度)

検査区分		検体数	延検査項目数
残留農薬	農産物 国産品	33	3,981
残留動物用医薬品	畜水産物	11	52
食品添加物	加工食品	51	95
重金属等(カドミウム、鉛)	陶磁器	0 ^{※1}	0 ^{※1}
乳の成分規格	牛乳	3	12
計		98	4,140

※1:新型コロナウイルスの影響による収去中止

2 食中毒(疑い含む)に係る検査

保健所による食中毒調査に基づき依頼された食品等について検査を実施しました。

令和 2 年度の検査状況は表 2 のとおりです。食中毒疑いで検査依頼がありました。

表2 食中毒(疑い含む)に係る食品等の検査状況(令和2年度)

事例	検体	検査項目	検査方法	検体数
1	血液	アコニチン系アルカロイド	LC/MS/MS	1

3 苦情等に係る検査

保健福祉事務所による苦情調査等に基づき依頼された食品等について検査を実施しました。令和2年度の検査状況は表3のとおりです。収去検査で表示違反となった食品に使用されていた着色料について、保健福祉事務所の依頼により検査を実施しました。

表3 苦情等に係る食品等の検査状況(令和2年度)

事例	検体	検査項目	検査方法	検体数
1	着色料	食用赤色2号、食用赤色3号、食用赤色40号、 食用赤色102号、食用赤色104号、食用赤色105号、 食用赤色106号、食用黄色4号、食用黄色5号、 食用緑色3号、食用青色1号、食用青色2号	HPLC	1
		赤色101号	TLC	

4 精度管理

試験検査の信頼性を確保するため、試験検査の業務管理(GLP:Good Laboratory Practice)を徹底し、第三者機関による外部精度管理調査を受験しました。

また、外部精度管理調査で使用されたものと同じ調査試料(余剰試料)を購入し、内部精度管理を実施しました。

GLP 外部精度管理 件数: 3件 延項目数: 19

GLP 内部精度管理 件数: 1件 延項目数: 2

5 技能試験(精度管理)

特定原材料検査の外部精度管理調査に参加しました。

件数: 2件(牛乳を含む食品試料) 検査項目: 特定原材料検査

6 健康危機管理関係

健康危機管理対策として、毎年度、地方衛生研究所全国協議会九州支部理化学部門模擬訓練に参加する等、理化学検査体制の充実を図っています。

7 調査研究

環境衛生担当及び医薬品課と共同で調査研究を行っています。

・危機管理のための迅速スクリーニング法に関する研究